

## 7 地域住民の生涯学習を促進する事業

# ネイパル春フェスタ

## 1 事業のねらい

様々な体験活動を提供することを通して、施設の利用促進と地域における体験活動及び、生涯学習の振興を図る。

## 2 事業の概要

- 期日 R4.5.22(日) 日帰り
- 対象 親子 200名程度
- 人数 56家族 202名(応募 82家族 282名)、ボランティア 11名
- 場所 ネイパル森

## 3 プログラム

		10:00	14:00	
5/22 (土)	受付	ネイパル春フェスタ ・縄文文化体験（まいざり式火おこし、勾玉づくり） ・アイヌ文化体験（アイヌ文様エコバッグづくり） ・自然体験（フォレストハイク、オフロードサイクリング） ・創作活動（スクラッチアート、間伐材オブジェづくり） ・ニュースポーツ体験（ポッチャ、ゴールポール） ・展示コーナー		終了

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

### ■施設利用を促進するための工夫

- ・ネイパル森で行っているプログラムの一部を提供した。また、季節ごとに体験できるプログラムを展示・紹介したり、家族向けにパンフレットを配付したりするなど、施設への興味・関心が高まるような工夫をした。

### ■周辺の自然環境を活用した活動プログラム

- ・ネイパル森周辺の地形や植物などの自然環境に目を向けてもらうため、それらを活用したオフロードサイクリングやフォレストハイクなどの体験プログラムを実施した。

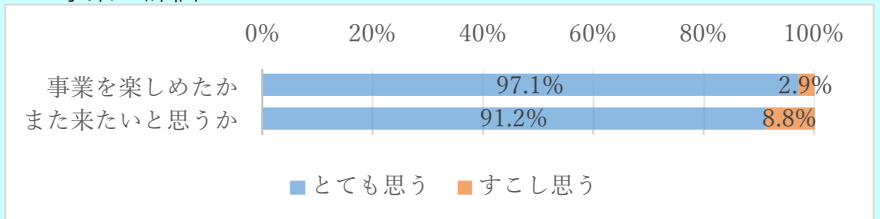


アイヌ文様エコバッグづくり体験



オフロードサイクリング

## 5 事業の評価



■参加者アンケートから、「施設をまた利用したいですか」という項目で90%以上が「とてもそう思う」と肯定的な評価をした。

■普段の生活でできないことを体験できたという回答が多くみられた。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「また利用したい」との声が多く、施設の利用促進につなげることができたことや、複数のプログラム体験をしたことで、全体の満足度が向上したと考える。
- 活動時間が足りなかったことや、指導するスタッフが少なかったことから、時間配分やボランティアの確保など改善する必要がある。



### 企画のポイント

複数の自然体験活動や創作活動を設定することで、今後の施設利用の促進につなげる。

# 親子でわーどキャラバン

## 1 事業のねらい

外国文化について体験活動を通じて、外国の人や文化に興味関心を持てるような機会を提供する。

## 2 事業の概要

- 期日 R4.10.22 (土)~23 (日) 1泊2日
- 対象 親子
- 人数 20家族63名 ボランティア4名 (応募24家族74名)
- 場所 ネイバル森

## 3 プログラム

	11:00	11:15	12:10	12:30	15:30	17:30	19:00	21:00	
10/22 (土)	受付	開会式	活動1【ネイバル森】 「みんなと仲良くなろう！」 (参加者及び外国人講師と交流)	昼食	活動2【ネイバル森】 「クイズでGET！」 (館内ウォークラリーと外国人講師に質疑応答)	活動3【ネイバル森】 「手作りしてみよう！」 (かぼちゃランタン(親) かぼちゃボール(子ども))	夕食	入浴 自由時間	就寝
	7:15	9:00		11:10	11:30	11:40			
10/23 (日)	起床	朝食	活動4【ネイバル森】 「アフリカの太鼓とダンス」 (民族音楽の鑑賞・体験)	アンケート記入	閉会式	解散			

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 様々な国の文化や人に触れるための講師選定
  - ・国際交流団体ブロックに依頼し、ウガンダ、ベトナム、マレーシア、アフガニスタン、ベナンといった国から来日している講師を招へいした。英語だけではなく、母国語での挨拶や各国の遊びを紹介してもらう活動を設定したことで、様々な国の言葉や文化に触れられるよう工夫した。
- 活動への興味関心を高めるプログラム
  - ・活動2では、悪役から宝を取り返すというストーリー仕立てで行うことにより、活動への意欲を高め、楽しみながら外国人講師と交流が図られるように工夫した。

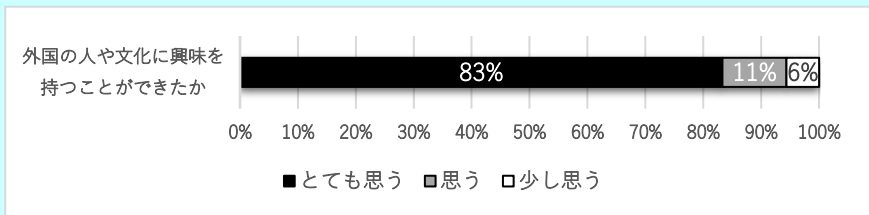


ゲームを通して、外国人講師と交流



アフリカ民族の太鼓とダンスの鑑賞・体験

## 5 事業の評価



- 参加者アンケートから
  - ・趣旨に関する項目で、参加者の94%が肯定的な評価をした。
- 参加者の声
  - ・「今まで話したことがない国の方と交流することができた。」や「色々な国の方とクイズやゲームを通して触れ合えた。」など企画の意図に迫る感想が得られた。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 参加者と外国人講師と交流する場面を多く設定したことで、参加者は楽しみながら、外国文化に興味関心を持つことができた。
- 地域における体験活動のさらなる促進、グローバルな視点の充実に向けて、今後も国際交流団体や民族音楽グループなどと継続し連携を図る必要がある。

## 企画のポイント

楽しみながら外国文化に触れられるように、ゲーム形式の活動や参加型の活動を設定。

# 家族ミニキャンプ

## 1 事業のねらい

親子での自然体験活動やキャンプ活動を通じて、家族の絆を深め、日常でも体験の機会を増やそうとする興味・関心を高める。

## 2 事業の概要

- 期日 ①R4.7.16(土)～17(日)②7.17(日)～18(月)各1泊2日
- 対象 親子
- 人数 ①9家族30名 ②11家族37名 計67名
- 場所 ネイパル北見
- 協力 OKHOTSK SAUNA CLUB

## 3 プログラム

	15:00		15:30		17:00		19:30		22:00			
7/16 (土)	①受付				開 会 式	家族で 火起こし体験	ONEPOTクッキ ングで夕食	入 浴 等	就 寝			
7/17 (日)	起 床 朝 の 散 歩	朝 食	家族で カヌー体験	閉 会 式	① 解 散	テントサウナ 体験(希望者)	② 受 付	開 会 式	家族で 火起こし体験	ONEPOTクッキ ングで夕食	入 浴 等	就 寝
7/18 (月)	起 床 朝 の 散 歩	朝 食	家族で カヌー体験	閉 会 式	②解散							

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 親子で協力する活動とそれぞれが取り組む活動の設定
  - ・火起こし体験では、全体的には親子で協力して取り組むが、部分的に親はナイフを使ったフェザースティック作り、子どもは麻ひもをほぐして火口作りなど、それぞれで活動する場面も設定した。親子それぞれが役割を果たしながら、互いに協力して取り組める活動を知ること、家族でキャンプに行くような場面でも親子で協力して火起こしができるような汎用性を高め、且つそれぞれが達成感を味わえるようプログラムを工夫した。

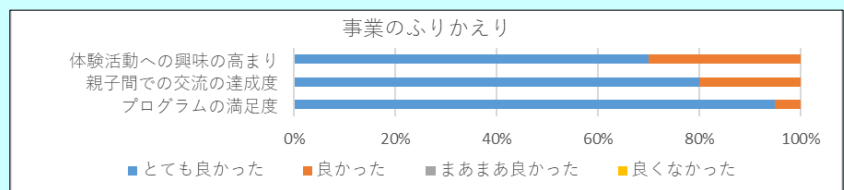


親子で協力して火起こし体験



親子で自然に触れるカヌー体験

## 5 事業の評価



- 参加者アンケートから、「体験活動への興味の高まり」に関する項目で、肯定的な評価が100%となった。
- 参加者間での交流がもっとあるとよかったと思う。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「普段家でしないようなことができて発見があった」などの声が多かったことから、家族で多様な体験活動に取り組むことで、体験活動に関する興味の高まりにつながったと考える。
- 意図的に参加者同士が協力して取り組んだり交流したりする時間を確保するなど、参加者間の交流を活発にする場面を設定する必要がある。

## 企画のポイント

親子で協力する活動と、親子それぞれで取り組む活動の設定。

# ご縁で結ぶ！ネイパル所長杯！パークゴルフ大会

## 1 事業のねらい

パークゴルフ大会を通して、運動能力の向上、世代を超えたコミュニケーションを図り、地域連携の基盤を作る。また未だ施設未利用の方へのネイパル足寄のPRを目的とした。

## 2 事業の概要

- 期日 R4.8.28 日帰り
- 対象 小学生から一般
- 人数 45名
- 場所 北海道立体験活動支援施設ネイパル足寄  
パークゴルフ場（ときわコース、ときわ東コース）

## 3 プログラム

8	9	10	11	12	13
08:00 集合 (ときわパークゴルフ場管理小屋)	受付 開会式	8:30競技開始 ときわコース ときわ東コース	休憩(集計) 表彰式 閉会式	懇親会 (参加自由)	

【活動1】パークゴルフ大会を通して、地域の方々と世代を超えてコミュニケーションを図る。

【活動2】懇親会を通して参加者にネイパル足寄を知ってもらう。

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- パークゴルフ大会の工夫
  - ・表彰式の際は、賞品の中身を読み上げ、表彰された方々より一言お言葉を頂戴した。
- 懇親会の工夫
  - ・懇親会を実施するため、ネイパル足寄のお食事提供を行ってくださっている地元業者割烹熊の子様協力のもとお食事提供。
  - ・大会中の活動模様を写真に収め、ネイパル足寄の紹介とともに、スライドショー形式で動画にし、鑑賞会実施。
  - ・参加者の中で音楽活動を実施している方 Monica Katzer さん（中札内教育委員会所属）の協力のもとシークレット Live を実施。



パークゴルフ大会の様子



表彰式の様子

音楽 Live 時の様子

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 大会を通してコミュニケーションを図り、ネイパル足寄への理解を広げられた。
- 大会集計作業を時短化する為、協会に協力依頼を実施する。
- 若年層の参加を促すために、夏期休業前の告知や親子で参加しやすい事業内容に変更をする必要がある。



## 企画のポイント

興味を持ってもらうために面白い  
を追求したプログラム構成。

## 山の音楽会

ネイパル足寄

## 1. 事業の目標

- ・体験活動や学習指導を通して、より多くの子どものように等しく体験や学習の機会を保障するとともに、豊かな心やたくましく未来を切り開く心を育む。
- ・自然体験活動を通して感性を働かせ、豊かな人間性を育む。また、地域に住む人々との交流の場とする。

## 2. 事業の概要

- 期日 R4.10.8(土)
- 対象 出演者・音楽会鑑賞者
- 人数 156名  
(出演者49名、鑑賞者107名)
- 場所 ネイパル足寄

## 3. プログラム

9:45 10:00 10:20 12:00 13:00 15:00 16:00

出演者 受付	出演者 開会式	出演者リハーサル	鑑賞者 受け付け	音楽会 開会式	山の音楽会	片付 解散
-----------	------------	----------	-------------	------------	-------	----------

【山の音楽会】…下記団体の演奏

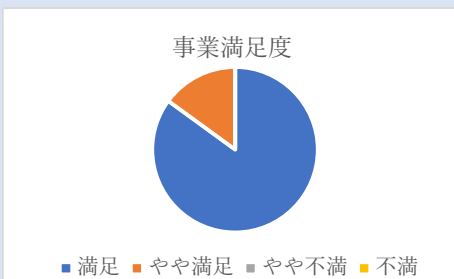
足寄町立足寄中学校吹奏楽部・北海道足寄高等学校吹奏楽局・北海道本別高等学校吹奏楽部・北海道上士幌高等学校吹奏楽部・キャッツァー望仁夏（ギター弾き語り）・東海林加奈（ピアノ）橋本千香子（オーボエ）デュオ

## 4. ねらいを達成するための工夫

- ・地域に住む人々との交流を図るため、十勝管内の吹奏楽団体に出演してもらえるよう、各団体の顧問の先生方とのネットワークを構築した。
- ・音楽への多様な興味・関心をもつ来場者に対応するため、ギター弾き語りやオーボエ独奏をプログラムに入れ、幅の広い内容にした。



## 5. 事業評価



## ■参加者の声

- ・中高生の若い子達が活躍出来る場があることがとても素晴らしく思いました。
- ・普段聞くことの少ない大人の方の演奏が聞いて嬉しかったです。とても楽しむことができました。

## 6. ねらいを踏まえた成果と課題

- 多くの方々にネイパル足寄まで足を運んでもらい、演奏を通して地域住民の交流の場を設けることができた。また、町教委と連携した取り組みに発展する可能性のある事業となった。
- バラエティーに富んだ地元の音楽愛好家たちにこの事業をより知ってもらい、活用してもらえようような広報活動の工夫。

## 👉 企画のポイント

来場者の健康と安全を確保し、安心して演奏・鑑賞できるようにする。

# 地域住民の健康づくりと生涯スポーツの推進プログラム 年忘れフロアカーリング大会

## 1. 事業の目標

地域住民の健康づくりや世代間交流を推進し、生涯スポーツの推進を図る。

## 2. 事業の概要

- 期日 R4.12.18(日) 8:00~14:00
- 対象 小学生~一般
- 人数 10チーム 40名
- 場所 ネイパル足寄
- 協賛 FCカーリング足寄協会

## 3. プログラム

	8	9	10	11	12	13	14	
12/18 (日)	8:00~8:30 受付	受付 開 抽 選 式	予選リーグ			軽 食 休 憩 タ イ ム	順 位 交 流 決 定 戦 戦	表 閉 彰 会 式 式 14:00解散

5チーム2ブロックで予選リーグを行い、順位決定戦により最終順位を決定

## 4. ねらいを達成するための工夫

活動拠点として日々ご利用いただいている FCカーリング足寄協会様と連携し、管内の他協会や足寄町の全学校に参加奨励し開催に至った。今年度初のフロアカーリング大会のため、恒例事業としての大筋の流れは変わらず、新しい色を出せるようオリジナル T シャツを作って職員全員で着用し大会を盛り上げるなどの工夫をした。



競技の様子



軽食・休憩の様子

## 5. 事業評価

### 参加者満足度



### 参加者の声

- ・楽しませてもらいました。大会をもう一回くらい年間に増やして下さい。
- ・フロッカーの動きをつかむのに四苦八苦しました。
- ・運営良好。

## 6. ねらいを踏まえた成果と課題

- 日常的に利用されている協会会員様の日々の練習の成果が発揮される場となった。
- 音更町2チーム・上士幌町1チームの参加もあり、普段利用されない方々とのコミュニケーションの輪が広がった。
- FCカーリング足寄協会・沼田会長への T シャツプレゼントも感謝を伝えるサプライズとして成功であった。
- 世代間交流を趣旨としながら学生や一般の参加がないことは課題である。未経験者や初心者歓迎の旨を大きく押し出す必要がある。

## 👉 企画のポイント

恒例事業の流れは変わらず、新しい色を出すためにお揃いのオリジナル T シャツで大会運営にあたった。

# あしょろFリーグ

## 1. 事業の目標

地域住民の健康づくりや交流をとおして、生涯スポーツの推進を図る。

## 2. 事業の概要

- 期日 R5.2.1(水)・8(水)・15(水)
- 対象 どなたでも
- 人数 13チーム 27名
- 場所 ネイパル足寄
- 協賛 FCカーリング足寄協会
- 後援 足寄町教育委員会

## 3. プログラム

	8	9	10	11	12
2/1 (水)	8:0~9:00 受付	受付	開 会 式 抽 選	リーグ戦	12:40 解散
2/8 (水)	9:00 競技開始		リーグ戦		12:20 解散
2/15 (水)	9:00 競技開始		リーグ戦		閉 会 式 表 彰 式 12:50 解散

## 4. ねらいを達成するための工夫

FCカーリング足寄協会様への積極的な参加呼びかけの他、管内の他協会様に広報を行い、新たに足寄町教育委員会様に後援を頂いて町内回覧板にチラシを回覧し参加奨励して開催に至った。

休憩時にはハンドドリップコーヒーを提供し、じゃんけん大会でさらに交流を深め、景品にカーリングのフロッカーを羊毛クラフトで制作し、プログラムの紹介と参加の呼びかけを行った。

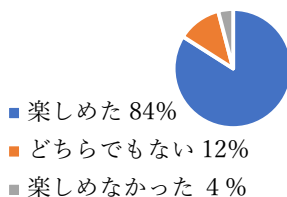


競技の様子



休憩の様子

## 参加者満足度



## 参加者の声

- ・大変良い大会だったと思います。自分ももう少し練習して上を見たいです。
- ・とても楽しくプレーをすることができました。
- ・感謝でいっぱいです。
- ・マイクの声がききづらい。

## 6. ねらいを踏まえた成果と課題

- 日常的に利用されている協会会員様の日々の練習の成果が発揮される場となった。
- コーヒー教室や、創作活動の羊毛クラフトなど、ネイパルで行える体験プログラムを宣伝することができた。
- 「冬期間なので、3週連続開催となると難しい」との声があり、管内の他協会の参加が無かった。
- 足寄町内にチラシを回覧したが、FC足寄カーリング協会会員のみの参加となった。

## 企画のポイント

参加者により多くの交流をしてもらえるようにじゃんけん大会を開催した。又、ハンドドリップコーヒーや、景品に羊毛クラフトを提供するなどプログラム参加の呼びかけに繋がった。



## 1. 事業の目標

地域住民の健康づくりや世代間交流を推進し、生涯スポーツの推進を図る。

## 2. 事業の概要

- 期日 R5.3.19(日) 8:20~13:00
- 対象 小学生~一般
- 人数 14チーム 59名
- 場所 ネイパル足寄
- 協賛 FCカーリング足寄協会
- 後援 足寄町教育委員会

## 3. プログラム

	8	9	10	11	12	13	
3/19 (日)	8:00~8:20 受付	受付 開抽 会選 式	競技			閉表 会彰 式式	13:00解散

2ブロックで予選リーグを行い、順位決定戦により最終順位を決定

## 4. ねらいを達成するための工夫

年忘れ大会で学生参加がなかった反省を踏まえ、これまで名称は「感謝感謝のフロアカーリング大会」であったが、広く一般の未経験者や学生への参加を呼びかけるため名称を変更した。他町FC協会や町内学校、また町内回覧板での広報により、小学生2チームを含む計14チーム59名が参加し、今年度のネイパル主催大会では最大人数となった。前日にはFCA協会様のご協力のもと小学生も練習会に参加し、交流を深めた。



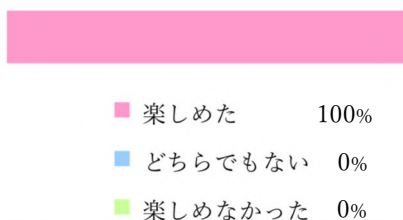
競技の様子



特別表彰の様子

## 5. 事業評価

## 参加者満足度



## ■参加者の声

- ・アドバイスを頂いたり、色々な人と交流できてとても楽しかったです。
- ・難しかったが楽しかった。次も参加したい。
- ・大会進行がスムーズで楽しかったです。
- ・時間にもう少し余裕があればいいと思います。

## 6. ねらいを踏まえた成果と課題

- 小学生2チームが参加し、日頃から練習している方々からの指導を受け上達し楽しむ姿がみられ、課題であった世代間交流が達成された。小学生には積極的な参加に感謝し、特別表彰を行った。
- 新得町1チーム・音更町1チーム・上士幌町3チームの参加もあり、普段利用されない方々とのコミュニケーションの輪が広がった。
- 未経験者の参加がある場合、各試合の時間をもう少し余裕をもって組む方が良い。また、ブロックによって時間に大きく差が出た場合のルール設定についても考える必要がある。
- 随時呼びかけを行ったがアンケート回収率が半数程度だったため、一斉に書いてもらう時間を設けた方が良い。

## 👉 企画のポイント

大会名称を変更し、未経験者を歓迎する旨を大きく打ち出した。

交流を深めるために、未経験者に練習会参加を呼びかけた。